

ABOUT

川代ラインパークとは？



恐竜ほ乳類化石発見地を通る・結ぶ ～歴史と自然感じる散歩道～

県道篠山山南線は、丹波篠山市八上下交差点と丹波市井原南交差点までを結ぶ全長27.26kmの主要地方道です。中でも、丹波篠山市大山下から丹波市山南町谷川までの区間は2007年11月に「たんば三街道」の名称で「日本風景街道」の登録を受け、2010年3月に「川代恐竜街道」の愛称をつけています。そして2019年3月にはこの川代恐竜街道に「川代トンネル」が開通し、丹波篠山市

～丹波市山南町間の通行がとても便利になりました。特にこのエリアは恐竜ほ乳類化石の発見が続く1億1千万年前の地層「篠山層群」がところどころ姿を現している場所。そして、化石発見地でもある丹波並木道中央公園と、元気村かみくげ周辺を結ぶ道路であるだけでなく、実際に恐竜の化石が見つかる発見地が2か所もある！という実は学術的にも貴重な場所なのです。今回サイクリングロード・遊歩道としてオープンするのは、「川代トンネル」完成後にリニューアル工事を進めている区間。篠山川の絶景と福知山線の鉄橋が交差する景勝地です。ぜひ春の陽光を感じにお出かけしてみませんか？

GARALLY

川代ラインパークの風景



迫力ある岩肌を見せる「川代渓谷」



昔の第一篠山川橋りょうの土台の名残



第二篠山川橋りょうを渡る福知山線の電車



川代3号トンネルには「丹波竜」が描かれる



大正10年(100年前)の石碑



川代トンネルを裏側から見ることもできる